

第116号

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE ALUMNI ASSOCIATION NEWS

[発行所] 東京農業大学校友会 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘3丁目9-31 電話 03-3429-1983 FAX 03-3427-2271 [編集発行人] 校友会会長 三好吉清

東京農業大学 校友会ニュース

125周年記念事業への協力 大学との連携強化など承認

平成26年度通常総会



総会であいさつする三好吉清会長

平成26年度校友会通常総会が去る5月23日午後1時から、世田谷キャンパスに新築された東京農大アカデミアセンターの横井講堂で全国から代議員213人(委任状50人)が出席し開催された。大学との連携強化・125周年記念事業募金への協力などが全会一致で承認された。

比例代議員の支部別配分を報告

小野甲二事務局長の司会で総会を進行。冒頭に主催者を代表して三好吉清会長があいさつし、来賓の学友法人東京農業大学理事長の大澤貫寿先生、東京農業大学・同短期大学部学長の高野克己先生が祝辞(要旨別掲)を述べた。他に学校法人東京農業大学の常務理事の鈴木昌治先生、同法人理事・法人本部長の古谷勇治氏、同法人顧問・東京農業大学校友会顧問の戸神重美氏、東京農業大学副学長の小泉幸道先生(校友会副

会長)が来賓として出席し、議長に広島県支部長の高橋敬明氏(昭43工)を選任、議事録署名名人に石川浩一代議員(昭56農)、緒方和彦代議員(昭63林)を指名し議事に入った。第1号議案「平成25年度事業報告ならびに決算報告の承認に関する件」が上程され、佐藤勝彦常任理事から詳細を報告後、福浜満監事から監査報告を行い、異議なく承認された。第2号議案「平成26年度

事業計画ならびに収支予算の承認に関する件」が上程され豊原秀和常任理事から説明があり、原案通り異議なく承認された。続いて、議長は議案以外の意見を求めたが、特段の動議はなく、高橋議長は降壇し議事は終了した。

小野事務局長からその他として、①株式会社農大常磐松第31期営業報告について②有限会社農大桜丘第14期営業報告について③校友会比例代議員の都道府県別代議員数について④創立125周年記念事業資金募金の経過について⑤平成27年度地域後継者推薦入試スケジュールの4事項が報告された。特に、都道府県別代議員数については平成24年11月の監事監査において「正会員数に応じた比例代議員数が一部の支部で基準に合致していない」との指摘があり、この間、理事会などで見直しの検討を重ね、地方支部に配慮する観点で162人から6人減の156人に配分されたとの詳細な内容が報告された。



茨城県と協定を結んだ高野学長、大澤理事長ら

地域活性化へ連携協定を締結

東京農業大学と茨城県は、日本の食料・農業・農村をめぐる諸課題に適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展および人材の育成に寄与することを目的として、連携協定を締結した。7月17日、茨城県庁で行われた協定締結式には、本学から大澤貫寿理事長、高野克己学長、渡部俊弘副学長が出席して、高野学長と橋本昌茨城県知事が協定

書にサインを交わした。主な連携事項は次の通り。
(1)相互の情報、技術などの知的資源の活用
(2)地域の活力を育む人材育成
(3)共同して実施する事業の企画、調整および推進

長野県木島平村

東京農業大学と長野県木島平村は、地域活性化、教育・研究の充実に寄与することを目的として、連携協定を締結した。7月28日、



長野県木島平村と協定を結んだ高野学長ら

で、高野克己学長と芳川修二村長が協定書にサインを交わした。主な連携事項は次の通り。
(1)むらづくりおよび人づくりに関すること
(2)自然、環境、産業および地域振興に関すること
(3)教育および伝統文化の発展に関すること
(4)森林等地域資源の保全として、それらを活用した再生可能エネルギーの創出などに関すること
(5)前各号に挙げるものの他、目的を達成するために必要な分野に関すること



全国から213人の代議員が出席した通常総会

| | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| I 平成25年度 一般会計収支決算書 | IV 平成25年度 退職金引当金収支決算書 |
| 収入総額 107,432,084 円 | 収入総額 17,002,282 円 |
| 支出総額 103,664,891 円 | 支出総額 0 円 |
| 差引残高 3,767,193 円 | 次期繰越金 17,002,282 円 |
| 剰余金処分・次年度繰越金 3,767,193 円 | V 平成25年度 スポーツ振興基金特別会計収支決算書 |
| II 平成25年度 予納金特別会計収支決算書 | 収入総額 14,590,504 円 |
| 収入総額 398,737,500 円 | 支出総額 13,868,486 円 |
| 支出総額 93,012,500 円 | 次年度繰越金 722,018 円 |
| 差引残高 305,725,000 円 | VI 平成26年度 一般会計収支決算書 |
| III 平成25年度 基本金特別会計収支決算書 | 収入総額 98,307,193 円 |
| 収入総額 293,915,548 円 | 支出総額 98,307,193 円 |
| 支出総額 0 円 | 差引残高 0 円 |
| 差引残高 293,915,548 円 | |

引き続き、大学創立125周年記念事業募金活動など諸課題についての意見交換を行い、東京農業大学事務局長の舟山亮氏、学友法人東京農業大学財務部長の手島秀樹氏も登壇者に加わり、質疑・応答が行われた。さらに、世田谷キャンパス キャリアセンター長の梶山孝泉氏から学生の就職状況の報告と就職あっせんの支援について要請があった。最後に、校友会館(グリーンアカデミーホール)で通常総会参加者全員による代議員懇親会が和やかに開催された。

代議員の皆さまには、遠路かつご多用中にもかかわらず多数ご出席を賜り心よりお礼申し上げます。

東日本大震災から早いもので3年以上が経過しました。政府は5年間25兆円の復興予算を投じ懸命に取り組みでありますが、一部でその兆しが見え始めているものの、遅々として進んでいないような感じがします。約47万人いた避難者は、27万人と減少していますが、依然として多くの方々が不便を強いられています。

原発事故に伴う放射能汚染処理も次から次へと問題が発生し、心痛ましく一日も早い復旧・復興を願っています。

大学も引き続き、被災地の在生や新入生の学費免除などを実施してまいります。

治、経済、社会情勢の変革の中で、母校・農大は大澤理事長、高野学長のリーダーシップのもと、教育の充実、学生支援の強化、社会貢献の展開などに積極的に取り組んでいます。入学者数の確保、就職率など順調な歩みが続けており、今年創立123年を迎えたところでは、

さて、校友会は15万9000余名の校友共々、大学の発展に向けて各支部と連携しながら、理事・事務局が一体となり、各種活動に取り組んでまいります。

各支部でも支部長を中心に活発に活動しています。昨年度は43支部で支部総会を開催、地域部会や職域部会も活発に行われています。

部代議員数を地方重視の観点で見直しました。各支部1人に正会員数をプラスするという内容で理事会決定しました。全体数は162人を156人とするものであります。

二つ目は、125周年記念事業基金です。校友会組織一丸となって協力する旨を全国支部長会議で採択、県別目標を機関決定して活動をスタートしております。経済情勢が思わしくない中、ご苦しんでいたいただいております。ご協力をお願いいたします。

三つ目は、地域後継者推薦入試です。平成26年度は96人全員を合格させたいただきましたが、この入試は農大独自の制度であり、出身地に帰り、地域後継者となること

が趣旨です。与えられた制度の枠組みの中で、大学に協力するとの基本的考え方でご推薦を賜りたいと思います。

四つ目は、海外視察団の派遣であります。グローバル化の進展とともに、母校も多くの留学生を受け入れています。校友会も国際化の視点で活動する時期を迎えております。今秋以降視察団を編成して協定校訪問と海外支部との交流会を予定しておりますのでご参加をお願いします。

最後は箱根駅伝です。今年も全校友が楽しく新年を迎え声援を送りましたが、10月18日に行われる予選会を突破して来年の正月も応援できるように支援をお願いします。

部代議員数を地方重視の観点で見直しました。各支部1人に正会員数をプラスするという内容で理事会決定しました。全体数は162人を156人とするものであります。

二つ目は、125周年記念事業基金です。校友会組織一丸となって協力する旨を全国支部長会議で採択、県別目標を機関決定して活動をスタートしております。経済情勢が思わしくない中、ご苦しんでいたいただいております。ご協力をお願いいたします。

三つ目は、地域後継者推薦入試です。平成26年度は96人全員を合格させたいただきましたが、この入試は農大独自の制度であり、出身地に帰り、地域後継者となること

が趣旨です。与えられた制度の枠組みの中で、大学に協力するとの基本的考え方でご推薦を賜りたいと思います。

四つ目は、海外視察団の派遣であります。グローバル化の進展とともに、母校も多くの留学生を受け入れています。校友会も国際化の視点で活動する時期を迎えております。今秋以降視察団を編成して協定校訪問と海外支部との交流会を予定しておりますのでご参加をお願いします。

最後は箱根駅伝です。今年も全校友が楽しく新年を迎え声援を送りましたが、10月18日に行われる予選会を突破して来年の正月も応援できるように支援をお願いします。

が趣旨です。与えられた制度の枠組みの中で、大学に協力するとの基本的考え方でご推薦を賜りたいと思います。

四つ目は、海外視察団の派遣であります。グローバル化の進展とともに、母校も多くの留学生を受け入れています。校友会も国際化の視点で活動する時期を迎えております。今秋以降視察団を編成して協定校訪問と海外支部との交流会を予定しておりますのでご参加をお願いします。

最後は箱根駅伝です。今年も全校友が楽しく新年を迎え声援を送りましたが、10月18日に行われる予選会を突破して来年の正月も応援できるように支援をお願いします。

校友会通常総会あいさつ要旨

東京農業大学校友会会長 三好 吉清



部代議員数を地方重視の観点で見直しました。各支部1人に正会員数をプラスするという内容で理事会決定しました。全体数は162人を156人とするものであります。

二つ目は、125周年記念事業基金です。校友会組織一丸となって協力する旨を全国支部長会議で採択、県別目標を機関決定して活動をスタートしております。経済情勢が思わしくない中、ご苦しんでいたいただいております。ご協力をお願いいたします。

三つ目は、地域後継者推薦入試です。平成26年度は96人全員を合格させたいただきましたが、この入試は農大独自の制度であり、出身地に帰り、地域後継者となること

本日に平成26年度東京農業大学校友会通常総会が開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

大学を取り巻く環境は非常に厳しい状況を迎えております。大きくは世界の潮流の中における日本の大学という捉え方をしているか、なければならぬ状況だと思っております。

人材の養成、これが大学に課せられた最大の責務でございます。これからの世界の動向をしっかりと見据えながら、将来の人材養成を図ることが一番肝心なことだと思っております。

しかしながら、国際情勢を見据えるというのは、生易しいものではありません。安定的に発展した国が、政治的な対立や人々の貧富の差などさまざまな要因に

よって大きく変貌していくことを目の前に突きつけられますと、多様な人材養成が求められることは認識しておりますが正直、戸惑いもあります。経済・農業界や関連産業などのさまざまな分野において必要とされる人材を時代背景の中でまさに消えてしまう市町村

しっくりと育んでいく必要があるかと思っております。今、大学は少子化の影響をまともに受けております。その中において、将来とも安定した大学経営を続けることは、われわれが早急に対策を取り、できるだけ多くの学生確保に努めているところであります。

新入生の女性比率は44%でございます。ここ数年この数値が続き、あと10年くらいで男女半々くらいになるかもしれません。

昔ながらの質実剛健だけではなくて、外部から見ても外見がどうなのか、キャンパス生活がどうなのかを問われる時代になってきました。各家庭での生活環境も変わってきておりますので、学生の生活環境の整備も進めていく必要もありません。

農大アカデミアセンターが完成し、世田谷キャンパスでは研究棟、ほ場の整備、緑の整備がまだ

思っております。あらためて人材養成はどうあるべきかということ、その時代時代の社会的背景の中でしっかりと考えていかないと、大学の基盤が緩んで危うくなってしまいます。少子化の進行という現実の中でみずみずしさを

こまねいているということではなく、大学の評価を上げる努力をスタッフは日々考へながら努力をしていく、それには校友の皆さまのお力添えが大変重要だと思っております。

2020年以降の少子化に向けた大学の在り方について、将来の展望も含めて、

いかなければなりません。その第一弾として、4月から食品安全健康学科(定員140人)をスタートさせました。おかげさまで2400人弱の受験生があり、食の安全と健康ということに対して意識の高い学生が集まっております。

地域後継者推薦制度は、地域の校友会活動を支援し活性化するために作られた制度であることをご理解ください。

本学は、基盤は全国ネットでございます。全国の校友会支部、海外支部の活動が活発化して受験生を掘り起こしていくことが大切です。地域後継者推薦制度で入学して卒業後地域に戻っていない、戻っても若い卒業生が支部活動に参加しない聞きません。各支部から入学後ご指導いただきました

急に再整備をしなければいけない一方で、厚木キャンパス学生会館の建設を近々早急に始めていきたいと思っております。

このように教育環境の整備を早急に進めないと、大学の社会的評価を高めていこうと思っております。

さて、このアカデミアセンターは、今年3月にお披露目会を行い、今日内部をご覧になっていただきましたが、本当に立派な建物となっております。これまでに多くのスタッフや校友の方々のお力添えによるものだと深く感謝申し上げます。

さらに、世田谷のキャンパス整備も進めないといけません。昭和三十年代の建物もありますので、できるだけ早く

くお願いいたします。就職率の件ですが、今年から文科省の計算式が変更され本学は88.8%でした。文科省公表の平均は94%でしたが、その数値は6500人ほどをサンプル抽出した数値で、非常に就職率の高い大学を抽出したものであります。本学の場合、前年と同じ方式で計算すると93%でありますので、引き続き就職に強い大学であると思っております。

大学が生き残るためには、教職員・学生・ご父母それから卒業生が連携しなければなりません。卒業生の全てが胸を張って東京農業大学卒業と言える大学を目指さなければなりません。本日も集まりの皆さまの活動がますます発展されることを祈念いたします。

来賓祝辞 要旨

学校法人東京農業大学理事長 大澤 貫寿



思っております。あらためて人材養成はどうあるべきかということ、その時代時代の社会的背景の中でしっかりと考えていかないと、大学の基盤が緩んで危うくなってしまいます。少子化の進行という現実の中でみずみずしさを

こまねいているということではなく、大学の評価を上げる努力をスタッフは日々考へながら努力をしていく、それには校友の皆さまのお力添えが大変重要だと思っております。

2020年以降の少子化に向けた大学の在り方について、将来の展望も含めて、

いかなければなりません。その第一弾として、4月から食品安全健康学科(定員140人)をスタートさせました。おかげさまで2400人弱の受験生があり、食の安全と健康ということに対して意識の高い学生が集まっております。

地域後継者推薦制度は、地域の校友会活動を支援し活性化するために作られた制度であることをご理解ください。

本学は、基盤は全国ネットでございます。全国の校友会支部、海外支部の活動が活発化して受験生を掘り起こしていくことが大切です。地域後継者推薦制度で入学して卒業後地域に戻っていない、戻っても若い卒業生が支部活動に参加しない聞きません。各支部から入学後ご指導いただきました

急に再整備をしなければいけない一方で、厚木キャンパス学生会館の建設を近々早急に始めていきたいと思っております。

このように教育環境の整備を早急に進めないと、大学の社会的評価を高めていこうと思っております。

さて、このアカデミアセンターは、今年3月にお披露目会を行い、今日内部をご覧になっていただきましたが、本当に立派な建物となっております。これまでに多くのスタッフや校友の方々のお力添えによるものだと深く感謝申し上げます。

さらに、世田谷のキャンパス整備も進めないといけません。昭和三十年代の建物もありますので、できるだけ早く

くお願いいたします。就職率の件ですが、今年から文科省の計算式が変更され本学は88.8%でした。文科省公表の平均は94%でしたが、その数値は6500人ほどをサンプル抽出した数値で、非常に就職率の高い大学を抽出したものであります。本学の場合、前年と同じ方式で計算すると93%でありますので、引き続き就職に強い大学であると思っております。

大学が生き残るためには、教職員・学生・ご父母それから卒業生が連携しなければなりません。卒業生の全てが胸を張って東京農業大学卒業と言える大学を目指さなければなりません。本日も集まりの皆さまの活動がますます発展されることを祈念いたします。

来賓祝辞 要旨

東京農業大学学長・同短期大学部学長 高野 克己



思っております。あらためて人材養成はどうあるべきかということ、その時代時代の社会的背景の中でしっかりと考えていかないと、大学の基盤が緩んで危うくなってしまいます。少子化の進行という現実の中でみずみずしさを

こまねいているということではなく、大学の評価を上げる努力をスタッフは日々考へながら努力をしていく、それには校友の皆さまのお力添えが大変重要だと思っております。

2020年以降の少子化に向けた大学の在り方について、将来の展望も含めて、

いかなければなりません。その第一弾として、4月から食品安全健康学科(定員140人)をスタートさせました。おかげさまで2400人弱の受験生があり、食の安全と健康ということに対して意識の高い学生が集まっております。

地域後継者推薦制度は、地域の校友会活動を支援し活性化するために作られた制度であることをご理解ください。

本学は、基盤は全国ネットでございます。全国の校友会支部、海外支部の活動が活発化して受験生を掘り起こしていくことが大切です。地域後継者推薦制度で入学して卒業後地域に戻っていない、戻っても若い卒業生が支部活動に参加しない聞きません。各支部から入学後ご指導いただきました

急に再整備をしなければいけない一方で、厚木キャンパス学生会館の建設を近々早急に始めていきたいと思っております。

このように教育環境の整備を早急に進めないと、大学の社会的評価を高めていこうと思っております。

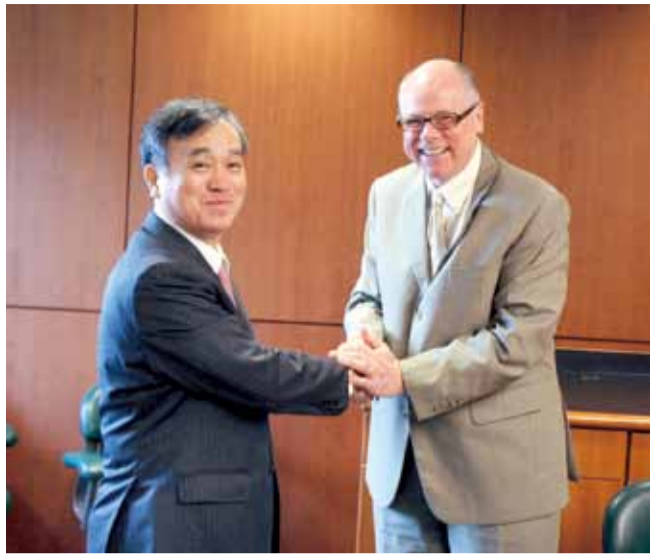
さて、このアカデミアセンターは、今年3月にお披露目会を行い、今日内部をご覧になっていただきましたが、本当に立派な建物となっております。これまでに多くのスタッフや校友の方々のお力添えによるものだと深く感謝申し上げます。

さらに、世田谷のキャンパス整備も進めないといけません。昭和三十年代の建物もありますので、できるだけ早く

くお願いいたします。就職率の件ですが、今年から文科省の計算式が変更され本学は88.8%でした。文科省公表の平均は94%でしたが、その数値は6500人ほどをサンプル抽出した数値で、非常に就職率の高い大学を抽出したものであります。本学の場合、前年と同じ方式で計算すると93%でありますので、引き続き就職に強い大学であると思っております。

大学が生き残るためには、教職員・学生・ご父母それから卒業生が連携しなければなりません。卒業生の全てが胸を張って東京農業大学卒業と言える大学を目指さなければなりません。本日も集まりの皆さまの活動がますます発展されることを祈念いたします。

2大学と学術協定を締結



高野学長とフェファア農学・生命科学部上席副学長

米国・コーネル大学

6月9日、コーネル大学（米国・ニューヨーク州イサカ市）で学術協定の調印式が執り行われた。調印式には本学から高野克己学長と志和地弘信国際協力センター長が出席し、高野学長とフェファア農学・生命科学部上席副学長が協定書に署名した。

コーネル大学は1865年に設立された、名門アイビリーグ加盟校であり、世界最高水準の教育・研究で知られている。特に、農学、生命科学、機械工学、コンピューター工学、建築学、経営学、医学などが著名である。

(株)ノエビアと包括連携協定



開所式でのテープカット

展が期待されている。CALSは全米で3番目の規模を誇る農学系の学部で、大学の設立と同時に開設された。次代の食料とエネルギーシステム、経済とコミュニティの活性化、生命科学、環境科学の探求を目標としている。

平成26年6月28日、東京農業大学生物産業学部と株式会社ノエビアとの包括連携協定の一環として北見オホーツク北方植物研究所内に「オホーツク地域連携研究センター」を開設、同日、開所式を実施した。

「オホーツク地域連携研究センター」を開設

生物資源を通じ、次のような活動を行う。
(1) 地域文化・産業振興を目的としたイベント開催
(2) オホーツク地域の生物資源に関する研究とものづくり
(3) 食品や化粧品業界で活躍する若手研究員の育成



ペラデニア大学での調印式。セナラッテニ学長と本学渡部副学長

スリランカ・ペラデニア大学

7月22日、ペラデニア大学（University of Peradeniya）スリランカ国キャンデーにおいて学術協定の調印式が執り行われた。調印式には本学から渡部俊弘副学長と志和地弘信国際協力センター長が出席し、アトゥラセナラッテニ学長が協定書に署名した。

42年に設立されたセイロン大学を前身とし、スリランカの古都キャンデーにある。ペラデニア大学は8学部を要する総合大学だが、設立当初には農学部（農学科および畜産学科）からスタートしており、スリランカで最も古い歴史を持つ農業教育機関である。特に、作物学、農業工学、獣医学に実績を持っている。本協定の発効により、今後、主に農学部との学生、教職員との交流、共同研究などの進展が期待されている。ペラデニア大学農学部は本学の協定校のミシガン州立大学と学術協定を結んでおり、2012年にミシガン州立



産学連携で覚書 生物産業学部とJFC北見支店

産学連携で覚書 生物産業学部とJFC北見支店

生物産業学部と株式会社日本政策金融公庫（JFC）北見支店は、地域を中心とした産学連携を推進し、地域の中小企業および



黒瀧学部長(右)と成塚支店長

生物産業学部と株式会社北洋銀行は、産学間の連携を通して相互の発展に寄与するとともに、地域経済の一層の活性化ならびに自立的発展に資することを目的として、研究交流、人材交流、人材育成など、うち相互の協力が可能な分野において、具体的な協力を有する。協力の概要は以下の通り。

生物産業学部と北洋銀行 地域振興へ産学連携



黒瀧学部長(右)と西野支店長

6月30日、オホーツクキャンパスで行われた調印式で、黒瀧秀久学部長と北洋銀行の西野寛北見中央支店長が協定書にサインを交わした。具体的な連携事項は次の通り。
(1) 新たな産学連携モデルの構築、大学が有する知的財産・シーズの有効活用のための協力
(2) 6次産業化に関する情報交換および協力
(3) 大学発ベンチャー、新事業・新規事業分野に関する情報交換および支援
(4) 相互の人的支援、人材育成、学生のキャリアアップに関する協力

学会賞など受賞者紹介

| 受賞名 | 受賞者名 | 受賞内容等 |
|--|--|---|
| 日本農芸化学学会2014年度大会トピックス賞 | 喜田聡教授 (バイオサイエンス学科) 他 | 「ビタミンB1欠乏によって、海馬の働きが損なわれ、その結果、記憶障害に陥ることを発見」喜田教授のグループが発表。 |
| 林業経済学会学生論文賞 | 吉野聡助教 (森林総合科学科) | 「森林施業の集約化に対する意向にもとづいた推進戦略-群馬県下仁田地域の事例-」が評価 (受賞当時は大学院農学研究科林学専攻博士後期課程3年に在籍)。 |
| 公益財団法人尾瀬保護財団第17回尾瀬賞を受賞 | 中村俊隆准教授 (生物生産学科) | 「湿原植物の分布機構解明へむけた生態生理学的アプローチ」が評価 (受賞当時は講師)。 |
| 公益財団法人LIXIL住生活財団「第4回 LIXIL国際大学建築コンペ」で優秀賞を受賞 | 造園学専攻・造園科学科の院生・学部生チーム | 北海道大樹町の牧場跡地を対象地とした周辺環境と地域づくりに配慮したコンペ。 |
| 日本造園学会平成26年度全国大会 (福岡) 学生アイデアコンペ「拠点デザイン部門:最優秀賞」および「福岡市長賞」ダブル受賞 | 地域環境科学部造園科学科のチーム坂口翔さん、小出ひかりさん、鈴木寛人さん (造園科学科4年) | 「地域文化をつなぐランドスケープ ~50年後の持続的発展のための福岡・博多のランドスケープの方法とデザイン」、作品名「まちやまち ~家族のようにつながるまち~」 |
| 日本沙漠学会 第25回学会大会ベストポスター賞を受賞 | 五関大海さん (農業工学専攻2年) | 題目:「モンゴル草地における MODIS BRDF データによる植生構造散乱指数を用いた植生評価」(多方向撮影の衛星画像からモンゴル草地の植生立体構造を評価した研究発表)が評価。 |
| 「緑の環境デザイン賞」継続優良賞受賞 | 植物介在療法学研究室 (バイオセラピー学科) | 研究室の学生が主体となって育苗管理を行っている「みんなのもったいないガーデン」の継続的な管理と活用が評価。 |
| 第31回日本微量元素学会学術集会ポスター賞を受賞 | 櫻井顔子さん (醸造学専攻1年) | 「屋久島の茶葉とその地域性」の発表が評価。 |
| 日本食品保蔵科学会第63回大会奨励賞 受賞 | 中村優助教 (畜産学科) | 「ジャガイモの品種および比重による加工特性の差異に関する酵素的な研究」が評価。 |
| 情報処理学会 喜安記念業績賞を受賞 | 畑中勝守教授 (国際バイオビジネス学科) 他 | 「IT漁業の推進及び海洋環境と水産資源の可視化による水産業への貢献に関する業績」が評価。 |
| 2014生態工学会 講演論文賞 受賞 | 西野康人准教授、中川至純助教 (アクアバイオ学科)、北村充彰さん (アクアバイオ専攻2年) | 「オホーツク沿岸海跡湖能取湖における海水生成期のクロロフィルaの動態」の発表が評価。 |
| Association for the study of Neurons and Diseases国際学会 2014年度学会賞 (AND investigator award) を受賞 | 喜田聡教授 (バイオサイエンス学科) | これまでの研究業績が評価。 |
| 平成26年度日本造園学会 ベストペーパー賞 受賞 | 小林成彦さん (造園学専攻2年) | 「棚田の耕作放棄に伴う排水システムの変更により生じた、「水の掟」といった取水ルールの変化に関する研究」が評価。 |
| 農業農村工学会 優秀技術賞 受賞 | 左村公さん (H19.3農業工学専攻博士後期課程修了)、中村好男教授 (生産環境工学科) 他 | 「地産地消型の小水力発電プロジェクトと地域活性化への取り組み」が評価。 |
| 和漢医薬学会平成26年度学会賞 受賞 公益財団法人日本食品科学工学会 平成26年度学会賞 受賞 | 御影雅幸教授 (バイオセラピー学科) 久保田紀久枝教授 (総合研究所) | 題目「食品香気の化学的・感覚的特性に関する研究」 |
| 日本食品科学工学会第61回大会 第10回若手の会 企業賞 受賞 | 江崎正信さん (農芸化学専攻博士前期課程1年)、尾関峻輔さん (食品香粧学専攻博士前期課程1年) | 題目:「アスコルビン酸によるアントシアニンの褪色促進について」 |
| 日本微生物資源学会第21回大会 優秀発表賞受賞 | 辻聡助手 (短期大学部醸造学科) | 「醤油諸味から分離されたヒスタミン生成乳酸菌の性質」の研究発表が評価。 |
| 日本哺乳類学会2014年度大会 学生口頭発表賞 受賞 | 渋谷未央さん (生物産業学専攻博士後期課程3年) | 題目:「ゴマファザラシ(Phoca largha)の有毒駆除効果の検証~個体識別による上陸場利用の変化から~」 |

(平成26年4月~9月15日開催分掲載)

Campus now

キャンパスナウ

世田谷キャンパス

受験生に大好評、 学科別マナビ体験

世田谷キャンパスでは、8月3日(日)・4日(月)の2日間、本学最大の受験生向けイベントである「キャンパス見学会」が開催された。今年度は農学部3学科も加わり、毎年1万人近くの来場がある本イベントは、例年に劣らぬにぎわいを見せていた。

主なプログラムとしては、実習・講義を体験する「分野別模擬実習」・「模擬講義」、入試に向けた説明会や推薦入試合格者の体験が聞ける「入試対策講座」などの企画が実施されたが、中でも中心となったのは学科ごとに教室を一部屋丸々使って来場者に学科紹介をする「学科別マナビ体験」であろう。

「学科別マナビ体験」は、研究室を訪問して実験を体験するような企画を行う学科もあれば、教室で動物を展示したり、説明会を行っている学科もあつたりと、学科ごとの特色が前面に押し出されていた。受験生にとっては「学科ごとの違い」を知るまたとない機会になったであろう。



入試対策講座は毎回満員。真剣な表情で講座に聞き入っていた。



学科別マナビ体験で学生スタッフの説明に、来場者の注目が集まる

今年も多くの学生スタッフが本イベントの中心となって来場者の対応をしていた。生き生きと自分の学科を紹介するそんな学生たちの姿を見て、「農大で学ぶ自分の姿」というものをイメージできた受験生も少なくなかったのではないだろうか。



分野別模擬実習では、楽しみながらバター作りを体験した。

盛況・キャンパス見学会

初の伊勢原農場 見学ツアーを実施



「みんなのもったいないガーデン」でコケ玉作りをする参加者

8月2日(土)、3日(日)の日程で開催した厚木の「キャンパス見学会」は、2日間で791人が来場し、昨年より260人余り上回った。プログラムは、農学科、畜産学科、バイオセラピー学科の各研究室に分かれて、研究室や場などで体験をする「学科別マナビ体験」や、3学科の教員による25分の「模擬講義」を中心に、それぞれの学科や研究内容の特徴をつかんでもらえるような企画を実施した。

また、農学部の特徴的な施設である伊勢原農場へマイクロバスで送迎し、農場を見学するツアーも初めて実施し、併せて農場施設の展示紹介も教室で行った。



伊勢原農場を訪れた見学者

厚木キャンパス



学科別マナビ体験で研究室を案内

オホーツクキャンパス 学生スタッフによる 青山ほとりで見送り

8月23、24の両日、オホーツクで「キャンパス見学会」が開催され、例年のように全国から受験生や保護者422人が来場した。

プログラムは学部紹介、学科別マナビ体験、保護者向け説明会、在学生トークライブ、入試や生活情報・アパート・下宿情報の個別相談コーナー、学外バスツアーなど。多くの人が親子で熱心に参加していた。



雨の中、青山ほとりで見送り(学外バスツアー)

今回新たに「オホーツクの地域食材を体験しよう!」コーナーを設置し、オホーツクキャンパスが社会人を対象に行っている地域活性化事業「オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾」の卒業生の協力を得て、地域の食材を使ったオリジナルメニューを来場者に提供した。カニ玉丼&ホタテ貝柱丼、網走ちゃんぽん、鹿肉弁当、スイーツなどいづれも大好評だった。

見学会のホストの中心はオホーツクブルーのTシャツに身を包んだ学生たち。オホーツクキャンパスでの実生活などを受験生や保護者に紹介したいと自ら志願した。実質来場者の見送りとなる学外バスツアーでは、バスが発発する際に従来は並んで手を振っていたが、昨年の学生が「青山でしょ!」と発案し、青山ほとりを演舞。今年も伝承された。今年2日間とも終了間際に雨に見舞われたが、雨がっぱを着て元気よく恒例儀式で締めくくった。

食と農の 博物館だより

博物館開館10周年
記念展示・第2弾

「バイオミメティクスを超えて!」

昆虫などの生き物や自然に学ぶものづくり



サイトモの葉のロータス効果

糸を模倣した繊維であることを知らない者はいないだろう。このように、生物の生態や生物が形づくるときの構造をバイオミメティクスも鉱石科学技術や石油化学技術などの地下資源技術などでは、今の長足の進歩はなかったかもしれない。しかし現在、人間の生活を支えてきた石油などの化石燃料は、資源枯渇の問題を抱え、今後、長い未来にわたって持続する科学技術ではな

くなってきた。地下資源に頼った技術は多かれ少なかれそのような問題を抱えている。われわれは、この問題を越えたところにあるだろう次世代のバイオミメティクスを模索しているのである。そこで本展示では、石油などの地下資源に依存しない、昆虫や自然が生み出すものを利用したものづくりの技術を、未来へ持続する最先端技術として紹介したい。

■期間
平成26年10月1日(木)～平成27年3月15日(日)

■趣旨
ミツバチの作る巣の構造が軽くて強いことに着想を得たハニカム構造は、現代の先端技術の産物である新幹線やロケットなどのポディーに利用されている。もっと身近な例でいえば、日常よく使われている面状ファスナーは野生ゴボウの実をヒントにスイスで開発されたものである。

また、ナイロンが絹糸を模倣した繊維であることを知らない者はいないだろう。このように、生物の生態や生物が形づくるときの構造をバイオミメティクスも鉱石科学技術や石油化学技術などの地下資源技術などでは、今の長足の進歩はなかったかもしれない。しかし現在、人間の生活を支えてきた石油などの化石燃料は、資源枯渇の問題を抱え、今後、長い未来にわたって持続する科学技術ではな

- 期間
平成26年10月1日(木)～平成27年3月15日(日)
- 趣旨
ミツバチの作る巣の構造が軽くて強いことに着想を得たハニカム構造は、現代の先端技術の産物である新幹線やロケットなどのポディーに利用されている。もっと身近な例でいえば、日常よく使われている面状ファスナーは野生ゴボウの実をヒントにスイスで開発されたものである。
- また、ナイロンが絹糸を模倣した繊維であることを知らない者はいないだろう。このように、生物の生態や生物が形づくるときの構造をバイオミメティクスも鉱石科学技術や石油化学技術などの地下資源技術などでは、今の長足の進歩はなかったかもしれない。しかし現在、人間の生活を支えてきた石油などの化石燃料は、資源枯渇の問題を抱え、今後、長い未来にわたって持続する科学技術ではな

- 主権 東京農業大学 農学部農学科
- 企画 東京農業大学 農学部農学科 昆虫学 研究室
- 監修 長島孝行 東京農業大学 農学部農学科 農学教授

- 第3回/1月10日(土) 13時30分
- 「昆虫の雑学に学ぶ」 友国雅章 前国立科学博物館 研究員
- 長島孝行 東京農業大学 教授

- 第2回/12月20日(土) 13時30分
- 「親子のためのトークショー・昆虫口ポットの未来」 神崎亮平 東京農業大学 教授
- 長島孝行 東京農業大学 教授

- 第1回/12月13日(土) 13時30分
- 「次世代のバイオミメティクスを語る」 下村正志 千歳科学技術大学 教授
- 長島孝行 東京農業大学 教授

校友会会長のキャンパス訪問

世田谷キャンパス
国際食料情報学部
の学生に聞く

今回は世田谷キャンパスを訪問。国際農業開発学科3年の吉浦諒子さん、食料環境経済学科3年の岡初音さん、国際バイオビジネス学科3年の永神裕樹君が校友会三好吉清会長と勉学・研究など学生生活について語りあった(10月3日)。

三好 こんにちは。皆さんが国際食料情報学部の各学科にどのような目的で進学し、どのようなことを勉強し、どのような方向に進む希望をお持ちなのかをお伺いしたいと思います。

吉浦 埼玉県出身です。国際農業開発学科を志望した理由は、国内外の農業実習や研修を行い、農業・農村開発協力を通じて国際貢献のできる人材を養成する教育目的に引かれたからです。

三好 世田谷キャンパスを歩く女子学生や外国人からの留学生が目立ちます。学部生の約40%が女子学生です。また、約300人の留学生がいると聞いています。どのような勉強や研究実習をやっているのですか？

営として捉え、6次産業化(生産、加工、流通販売)に取り組みが必要だと考え、国際バイオビジネス学科でグローバル(地球規模)な知識と技術を身につけたいと考えました。



吉浦 諒子 (写真左) 国際農業開発学科3年
国際協力に役立ちたい

岡 初音 (写真中央) 食料環境経済学科3年
山村再生の知識生かす

永神 裕樹 (写真右) 国際バイオビジネス学科3年
広い視野で農業を継ぐ

岡 香川県出身で長女です。課外活動は「ミツバチ研究会」に所属しています。食料環境経済学科を志望したのは農業・食料・環境問題など広く勉強する学科であり、また実習を通して農業を実学で勉強できるからです。

永神 長崎県出身、実家はかんきつと米、野菜の専業農家の長男です。卓球部に所属して課外活動にも取り組んでいます。農業を経営

吉浦 国際農業開発学科は文理融合型で文系・理系半々の研究室があります。農業開発経済学・農業経営学などの社会科学系と熱帯作物学総論・農業環境科学総論などの自然科学系の科目があり国際農業開発に必要な教養・知識を複眼的に学んでいます。

また、1年次には厚木農場で農業総合実習、2年次は富士農場で農業専門実習



を舞台にした農業実習の機会



3年次では沖縄の宮古亜熱帯農場で農業開発実習と段階的に実践的な学力を身につけていきます

も「環境」についても社会科学の視点から理解を深めています。

1、2年次はミクロ経済学・マクロ経済学などを必修で勉強します。また食料・農業・環境といったフードシステムの全体像をつかむための幅広い科目を選択できます。

3年次からは、新エネルギー論や環境経済評価など、環境問題をより深く考えるため、米国、欧州連合(EU)、アジア地域の現状・課題をより専門的な視点から勉強しています。

2年次からは「食料経済コース」「農業経済コース」「環境経済コース」の3

さらに、広い視野をもった農業開発の国際的専門家としての資質を養うため、3年次には国内外を舞台にした農業実習の機会

帯農場で農業開発実習と段階的に実践的な学力を身につけていきますので、楽しく充実した勉強内容となっています。



「食」と深いかわりをもつ

「環境経済コース」の3コースに分かれ、各自の興味や将来のキャリアプランに合わせた勉強に取り組み「フィールド研修、フィールドスタディ」の実習は特徴ある科目です。

私は、国際農業・貿易研究室に所属しつつ、長野県長和町の山村を活性化させる実習実学「山村再生プロジェクト」に毎月1度参加しています。このような活動は他大学にはない農大の良いところだと思います。

2年次からは「食料経済コース」「農業経済コース」「環境経済コース」の3コースに分かれ、各自の興味や将来のキャリアプランに合わせた勉強に取り組み「フィールド研修、フィールドスタディ」の実習は特徴ある科目です。

私は、国際農業・貿易研究室に所属しつつ、長野県長和町の山村を活性化させる実習実学「山村再生プロジェクト」に毎月1度参加しています。このような活動は他大学にはない農大の良いところだと思います。

バイオとは、人間の生存に関わる食料としての生物作物、家畜、水産物などの動物の生産、加工、流通に関する各産業におけるビジネス。もう一つは各産業の発展のために必要な技術、人材、サービスなどを提供する食料関連産業におけるビジネスです。この二つのジャンルの幅広い知識と技術を実践的に学ぶことができる、ユニークな学科です。

1・2年次はゼミに所属し、食料生産から流通までの基礎知識を勉強します。また実際の経営者から学ぶ実践論や、経営情報論など戦略的な専門科目を学びます。

3年次からは所属ゼミを選択し経営戦略、市場調査、ブランド創造、データベイス設計、環境保全学などの専門知識を学びます。

2年次の夏休みには、国内外で「実地研修」を体験します。

また、グローバルな活動に不可欠な語学とIT教育は充実しています。

ビジネス学科は、留学生との交流ができるメリットがあります。2年のとき新潟県上越(じょうえつ)東京農大)に実地研修した時など、留学生と英語での会話ができ非常に勉強になりました。各国々の食文化やお柄の話の聞いたり、料理を作ったり、座学では得られない知識を勉強することができました。

東日本大震災の復興ボランティア活動も行っています。私はJICAの青年海外協力隊に学部卒で応募しようと考えています。その後、非政府機関(NGO)や特定非営利活動法人(NPO法人)で国際協力関係の職業に就きたいと考えています。

今年度、第14回のISF(世界学生サミット)がタイのカセサート大学で開かれ、参加しました。食料・農業・環境問題について議論する中で英語の重要性を知ることができました。また、南米ブラジルにも勉強のため渡航し海外の学生との連携を図る必要性も感じました。

吉浦 私はシェパードという集中講座とかISF委員会(農大の協定校が集まってディベートするフォーラム)に所属していますが、これら活動の中で多くの留学生と交流しています。

三好 皆さんは、学部で留学生が一番多い。それをチャンスと捉えただけ留学生との交流を図り、お互いにグローバルな研究に取り組んでください。就職はどの方面を希望していますか？

吉浦 私はシェパードという集中講座とかISF委員会(農大の協定校が集まってディベートするフォーラム)に所属していますが、これら活動の中で多くの留学生と交流しています。

農大は自分と同じ農家出身の人が多く、農業に関する話が聞ける環境にありますので、とても視野が広がりました。学科では諸外国への実習もあり、留学生が多く国際交流ができることに感激しています。

三好 誰よりも数多くの経験をして、残り少ない学生時代をぜひ謳歌(うたが)かしていただきたい。

岡 先生と学生の距離が非常に近いことが一番です。困ったことや分からないことなど、いつも聞きに行ける環境にあります。それと自分の勉強したい「山村再生プロジェクト」が充実していること。プロジェクトに参加して充実した学生生活を送っています。

永神 農大は自分と同じ農家出身の人が多く、農業に関する話が聞ける環境にありますので、とても視野が広がりました。学科では諸外国への実習もあり、留学生が多く国際交流ができることに感激しています。

岡 大学で知識を得る中で、興味が沸いた職業を見つけないと考えると、当面、「山村再生プロジェクト」の活動で学んだ知識・経験を地元・香川県で生かすため、食料・農業問題に関係する地方公務員を目指しています。

永神 私は、しばらく社会勉強をして、最終的には九州・長崎に戻り農業後継者として地域の発展に尽力したいと考えています。

三好 農大に入って良かったと思ったことは、**吉浦** いい指導者に恵まれ、目指している国際協力関係の勉強ができていことが第一です。それと地域に根付いた農業実習を通して国際協力の在り方などを勉強ができるカリキュラムがあった点ですね。

| 学部 | 学科 | 試験日 | 願書受付 | 合格発表 |
|-------|----------|-------------------------------|---|-------------|
| I期 | 農学部 | 2月4日(水) 2月5日(木) 2月6日(金) | Web出願のみ 1月5日(月)~1月21日(水) (最終日は入力15時まで、 郵送は消印有効) | 2月14日(土) 9時 |
| | 応用生物科学部 | | | |
| | 地域環境科学部 | | | |
| | 国際食料情報学部 | | | |
| | 生物産業学部 | | | |
| 短期大学部 | 全学科 | 2月3日(火) | | |
| II期 | 生物産業学部 | 3月4日(水) | Web出願のみ 2月16日(月)~2月23日(月) (最終日は入力15時まで、 郵送は消印有効) | 3月9日(月) 9時 |
| | 短期大学部 | | | |

一般入試I期・II期
平成27年度

東京農業大学

I期【短期大学部】
札幌・仙台・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・世田谷キャンパス
I期【農学部、応用生物科学部、地域環境科学部、国際食料情報学部、生物産業学部】
札幌・仙台・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・大宮・津田沼・松戸・池袋・立川・町田・横浜・世田谷キャンパス・オホーツクキャンパス
II期【生物産業学部、短期大学部】
世田谷キャンパス

併願について
【農学部、応用生物科学部、地域環境科学部、国際食料情報学部、生物産業学部】
I期では、1日の受験につき複数学科の出願が可能です。
また、3日間の試験日から受験日を自由に選択できます。3日間同一学科の受験も可能です。
II期は生物産業学部のみ実施します。複数学科の出願および短期大学部の各学科との併願が可能です。
【短期大学部】
I期、II期ともに、複数学科の出願および生物産業学部の各学科との併願が可能です。

昨年12月、「和食」がユネスコ世界無形文化遺産に登録され、テレビなどでも大きく取り上げられました。注目されることは大変喜ばしいことではあります。が、このままでは失ってしまいかも知れない、守らなければならぬ「遺産」として世界が日本料理を認めなことを忘れてはなりません。

私の父である柳原敏雄（東京高等造園学校昭和6年卒）は、すでに日本料理がだんだんと崩れはじめていたと感じ、正しく次世代に伝えなくてはならないとの思いで、江戸時代文化文政年間から伝わる柳原家伝の近茶料理をあらためて、一般の方にお教えする形の料理教室を開きました。現在、

東京・赤坂の柳原料理教室では、私が父の遺志を継ぎ、息子である尚之と共に教壇に立ち、ご飯の炊き方やだし、引き方から始まり、お客さま料理や茶懐石にいたるまで、献立の立て方、器の選び方、作法も含めて、日本文化としての料理をお教えています。

「食べるとは生きる」といって、毎日食へることと命をつなぐ。今は昔よりの食へ物が手に入り、手軽に外食ができるようになったことで、家庭で料理をしなくても生きていける世の中になってしまっています。しかし、それはとても危険なことであり、家庭にこそ本来の食があるべきだと私は思っています。特に

私は亡くなった父の影舌は小さい時に食へてきたものが味の基準となり、子どもの時から外食ばかりしている濃味、はっきりとした味を好む偏った味覚となり、根菜類の持つやわらかな甘味や、葉物の持つほんのりした苦さなど微

妙なおいしさを感じ取れなくなってしまうのです。日本人が繊細な舌を持つことで、今の日本料理があるのですから、子どもの舌を育てることが将来の日本料理の発展につながるのです。そのような思いから、少しでも日本料理のおいしさを家庭に伝えるために日々教壇に立っています。

わが家では父、私、息子と親子3代、東京農業大学を卒業しています。食と農は切っても切り離せない

関係で、農業は野菜や畜産物などの食材を作り、料理になることで人の口に入ります。料理は農業と人間をつなぐ橋渡しの関係なので、光の陰影を考えながらの盛り付けをすることができ、今でも役立っています。卒業で使う写真は赤坂の料亭に頼んで夜に撮影させてもらったのですが、場所柄たびたび警察官に不審者にみまわされたのも、今となっては良き思い出となっています。

息子である尚之は、造園学科卒の私としては少々側が高く、手前を低く盛り付けます。日本庭園の造りに似ていて、刺身の手前に添える、全体の景観を整えるための薬味やつまの造園用語が使われていることでも分かります。余談ですが、昔前のフランス料理は、盛り付けは平たく、左右対称に盛り付けることが多く、西洋庭園に似ており、料理の盛り付けと庭園の配置にもお国柄が出るのが面白いです。

日本料理の姿を次世代に



近茶流宗家

柳原一成氏

(昭和40年3月 農学部造園学科卒業)

近茶流嗣家

柳原尚之氏

(平成13年3月 農学部醸造学科卒業)



「実学主義」があります。私の好きな言葉であり、料理も農業と同じく実学であり、すぐに人の役に立つ道であると感じています。文化という物は一度失うと取り戻すのは、大変な苦勞が伴います。失う前にもう一度見つめ直し、日本料理の真の姿を次世代に伝えることが、私どもの役目だと思っています。(柳原一成)

校友会情報

新HPを見てください

「東京農業大学校友会」の新しいホームページ（HP）では、校友会本部情報、校友会組織、支部役員、支部総会の開催・結果など最新の情報を紹介しています。これから順次更新し、皆さまにお知らせしていきますので、積極的に情報の提供（500字以内の記事と写真のデータ）をお願いします。

なほ、今まで「校友会ニュース」に掲載していた「支部総会の開催」「同期会の開催」は、紙面の都合でHPに掲載しています。

●HPアドレス
<http://www.nodai-koyukai.jp>

住所変更などの届け出(お願い)

校友会では会員名簿(原簿)の整備を進めています。勤務先の異動・変更など多くの会員が住所不明となつてしまっています。住所変更をした校友(または知り合いの方)は、ホームページの異動届け用紙を印刷してファクス、はがき、電話などで連絡をお願いします。

平成26年度も300万円を目標にしていますので、ご支援ご協力をお願いします。

スポーツ振興基金の造成と募経経過

平成26年4月～9月末に17件・12万5200円の募金を頂きました。ご協力いいただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。

平成26年9月末寄付金累計実績
寄付者総数 6508件
寄付金総額 1億623万1117円
申し込みおよび送金方法
郵便局の「郵便振替払込取扱票」で送金ください。
口座番号
00190011145344
加入者名
東京農業大学スポーツ振興基金
連絡先 東京農業大学校友会事務局
(電)03(3429)1983

募金のお願い

東京農業大学創立125周年記念事業資金の募金活動を行っています。校友会でも支部ごとに一定の目標額をもって活動していますので母校・東京農業大学の

東京農業大学スポーツ振興基金
寄付者ご芳名(第36回)
平成26年4月1日～平成26年9月30日(順不同・敬称略)

団体 ¥50,000 東京農大校友会 愛媛県支部 武井 清秀 (愛媛県)
個人 ¥10,000 渡邊 晃 (新潟県) 福島 偉志 (広島県) 川辺 貴志 (神奈川県) 高橋 登美雄 (神奈川県) 小林 召二 (静岡県) 橋本 佳子 (東京都) 長谷川 信夫 (神奈川県) 山本 宜司 (静岡県) 大村 徳夫 (静岡県) 木内 雅一 (静岡県) 西島 弘一郎 (静岡県) 矢ノ下 光義 (静岡県) 塩崎 康信 (静岡県) 佐々木 献 (静岡県) 岩淵 守男 (栃木県) 秋山 健 (東京都) ¥1,200

収穫祭 開催日ご案内

各キャンパスの収穫祭は下記の日程で開催されます。ご家族、友人、知人お誘いあわせてご参加ください。ただし、オホーツクキャンパスは終了しました。

●世田谷キャンパス 第123回収穫祭

テーマ「育てよう“みどり”と未来への夢」
10月31日(金) 文化学術展
11月1日(土) ステージ企画
11月2日(日) 模擬店
※受験生向けイベント:11月1～2日
学科別個別相談会・入試説明会10:00～16:00

●厚木キャンパス 第15回収穫祭

テーマ「笑顔大豊作!」
11月1日(土) 文化学術展
ステージ企画
11月2日(日) 模擬店
※受験生向けイベント:11月1～2日
学科別個別相談会・入試説明会10:00～16:00

●オホーツクキャンパス 第26回収穫祭

テーマ「袖つむぐ～」
10月12日(日)、13日(祝)に開催されました。

推薦入試I期II期 平成27年度

| 学部 | 学科 | 試験日 | 願書受付 | 合格発表 |
|-----|----------|-----------|--|-------------|
| I期 | 農学部 | 11月16日(日) | Web出願のみ 10月29日(水)～11月5日(水) (最終日は入力15時まで、 郵送は消印有効) | 11月24日(月)9時 |
| | 応用生物科学部 | | | |
| | 地域環境科学部 | | | |
| | 国際食料情報学部 | | | |
| II期 | 生物産業学部 | 12月7日(日) | Web出願のみ11月25日(火)～11月28日(金) (最終日は入力15時まで、郵送は消印有効) | 12月12日(金)9時 |
| | 短期大学部 | | | |
| | 生物産業学部 | | | |
| | 短期大学部 | | | |

選考方法 書類・小論文・面接
募集要項請求 問い合わせ先 大学ホームページ(<http://www.nodai.ac.jp/>)「受験生・高校生の皆様へ」
→「資料や願書を請求したい」ボタンをクリック
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 入試センター TEL:03-5477-2226
試験会場 農学部は厚木キャンパス。その他の学部は世田谷キャンパス(生物産業学部はオホーツクキャンパスでも実施)

センター試験利用入試 平成27年度

| 学部 | 学科 | 試験日 | 願書受付 | 合格発表 |
|----|----------|--------------------------------|--|------------|
| 前期 | 農学部 | センター試験 1月17日(土) 1月18日(日) | Web出願のみ 1月5日(月)～1月16日(金) (最終日は入力15時まで、 郵送は消印有効) | 2月14日(土)9時 |
| | 応用生物科学部 | | | |
| | 地域環境科学部 | | | |
| | 国際食料情報学部 | | | |
| 後期 | 生物産業学部 | 1月18日(日) | Web出願のみ 2月16日(月)～2月23日(月) (最終日は入力15時まで、郵送は消印有効) | 3月9日(月)9時 |
| | 短期大学部 | | | |
| | 生物産業学部 | | | |
| | 短期大学部 | | | |

※センター試験において志望学科の指定科目を受験することが条件です。複数学科に出願可能です。
※詳細は募集要項をご確認ください。

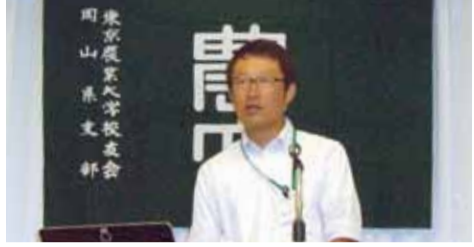
支部総会開催一覧表

Table with columns: 支部名, 平成26年度開催日, 曜日, 校友会, 出席者, 参加者数, 場所, 講演等. Lists branch meetings across various prefectures like Tokyo, Kanagawa, and Chiba.

支部総会講演

休日自伐林業家を目指して - 僕は絶対に山を諦めない -

岡山県支部 奥山総一郎氏 (平成8年林)



支部総会で講演する奥山氏

岡山県支部総会では昭和61年から講演会を行っている。29回目となる今年も、県森林組合連合会総務部企画指導課に勤務する美作地区真庭市の奥山氏が、自身の活動と林業への思いを講演した(8月23日)。

林業・5代目の跡継ぎ 美作はヒノキの原木生産量が2年連続日本一。今年も日本一を目指してプライドをかけた頑張っている。

私は、昭和48年に岡山県北部の真庭市(旧落合町)の林業・5代目後継ぎの長男として生まれた41歳。祖母(今年100歳)・父母・妻・娘3人の8人家族。農

地は水田20ア(飯米)、畑10ア(自家用野菜・ピーネ)に、和牛を1頭飼養している。所有森林は約6ヘクタール。所有森林は約6ヘクタール。所有森林は約6ヘクタール。

平成26年度支部ブロック会議開催

Table with columns: ブロック名(当番支部名), 開催日・場所, 本部出席役員. Lists regional block meetings for various areas like Hokkaido, Tohoku, and Kyushu.



休日林業に精を出す奥山氏(右)

森林組合員。100%システムを利用している。年間4トンの不要材は地元の一真庭バイオマス発電施設に供給することなどを心掛けています。

私は県森林組合連合会で企画・組合指導を担当するサラリーマンだ。8年前に2年間、木材共販所(原木市場)への人事異動があった。就職から十数年が経過

していたので、仕事には自信がついていたが、共販所は未経験。丸太の価値を見定めることなどできなかった。私より一回り以上若い後輩がヒノキのせりをして

「おい!一緒に山の木を出さんか?」と言った。それからというもの、林業に関する仕事に携わっていな

幸い、わが家の全ての林地は隣接との境界が確定されておらず、また、林業経営を行うのに必要な全ての道具が整備されていた。その

休日林業という副業活動ではあるが、年間50立方メートル、手取り50万円以上を目標に掲げ活動している。経営方針はコスト削減と省力化。機械装備の増強は極力抑え、外注は搬出のトラック輸送に限っている。私は

要だ。今後の高齢級・大径木化に備えるために必要不可欠な機械装備としてグラップル(ベース4ト)を導入した。

JAグループの常勤役員で構成する「常磐松JA常勤役員情報交換会」が8月8日、東京都内のホテルで開かれ、新任の会長、組合長の就任を祝った。



あいさつする萬歳章JA全中会長

JAグループの自己改革に先頭を立って取り組んでいるが、ここに出席の諸氏はもちろん、多くの校友の温かい支えに感謝している。団体のトップに就任した新任の方々の今後の活躍に期待する」と激励。

また、16x20の丸太や高齢木に対応するため林道整備が不可欠。体を壊さないために道は必要だ。作業道新設は山の地形を変えるため、人任せにはできない。そのため、林内作業車(クローラー1.2ト積載)も導入した。

技術の向上を図り、経済的に許す範囲で機械や道具を増強しつつ作業を継続していくと、いくらかは手元に残っていく。しかも、手入れをした後は、美しい山と新たな技術がもれなく手元に残る。

さらには、作業中のけがや事故にも要注意。これまで、作業を欲張った結果、チェーンソーによる創傷など、失敗した。失敗しない作業体系を構築して頑張っている。

今年切っている木は、父・祖父・祖先が植え、育てた木だ。祖父・父が投下した資本が、ヒノキの成長という果実となり、それを私が収穫しているのだ。

JAグループの自己改革に先頭を立って取り組んでいるが、ここに出席の諸氏はもちろん、多くの校友の温かい支えに感謝している。団体のトップに就任した新任の方々の今後の活躍に期待する」と激励。

役員員の情報共有が鍵を握る。そのために、各支部と情報提供していきたい」と抱負を述べた。

また、間伐は収穫と同時に残した木を育てる作業。作業道新設と搬出間伐により山の価値を高め、子孫へ渡す使命が私にはある。山を育てるインフラを私の代で完全に整備したいと考えている。壊れない道造り・境界の明確化・所有面積の増加(規模拡大)も進める必要がある。

今切っている木は、父・祖父・祖先が植え、育てた木だ。祖父・父が投下した資本が、ヒノキの成長という果実となり、それを私が収穫しているのだ。

また、JAグループの情報発信センターである日本農業新聞の田沼征彦会長(昭42造)は「JAの自己改革の成果を挙げるには

子孫に誇れる山づくりを目指す

OB活躍 大規模経営生かし6次化

校友会は、都道府県支部の協力を得て「農業の6次産業化に取り組むOB経営の生産・販売品」などについて、全国の約80経営体を調査した。そのうち3経営体を現地取材したので、ここにその経営概要を紹介する。調査結果は「食農の匠(たぐみ)」（仮称）として冊子に収録して平成27年2月刊行する予定だ。

自社オーガニック卵でケーキも

農業生産法人「黒富士農場」
代表・向山茂徳氏(昭48畜)

農業生産法人「黒富士農場」は向山茂徳氏(昭48畜)が昭和59年、山梨県甲斐市に設立、創業30年となる。向山氏は採卵鶏の平飼い放牧と有機鶏卵生産のバイオニア。旧開拓地16畝で約7万6000羽を飼養(うち半数を平飼い放牧)している。餌は有機栽培の非遺伝子組み換えトウモロコシにこだわり、鶏卵で国内初の有機JAS認証を取得した。「自然と共に生きる暮らしを目指し、たぐり着いたのが今の経営スタイル。日本の動物福祉や有機農業に関心を高めるきっかけになってほしい」と向山氏。長男の洋平氏(平14畜生)、次男の一輝氏(平16国経)も経営参加している。生活クラブ生協山梨と提携する他、農業の6次産業化推進のモデルとなるオーガニック卵、放牧卵、さくら卵などの生産と自社生産卵をふんだんに使ったバウムクーヘンやケーキなどの加工品、それらを販売する直売所「たまご村」を経営するなど自然農法をベースにした農業と卵を軸とした食提案を続けている。



〈平成26年度(第53回)農林水産祭内閣総理大臣賞受賞、2013年度第43回日本農業賞受賞、2003年東京農大経営者大賞受賞〉



県最大17畝のリンゴ專業経営

農業生産法人「安曇野ファミリー農産」
ナカムラフルーツ農園代表・中村隆宣氏(昭57農)

長野県安曇野市の中村隆宣氏(昭57農)は、平成8年に農業生産法人「安曇野ファミリー農産」を設立。中村氏は、兼業農家の後継者として農大に進学、大学を1年休学してオレゴン州果樹農家に研修。スケールアップに感銘を受け大規模なリンゴ專業経営を決定。果樹園芸研究室(宮田講師)を卒業後、ルーマニアで経営を実践するなど諸外国のリンゴ経営を学ぶ。就農時の1・2畝から現在の17畝に面積を拡大。リンゴ経営は33年目。長野県

一のリンゴ経営者と自負する。研修生の受け入れなど担い手の育成も図り、遊休荒廃農地の活用で50畝経営をめざしている。「シナノレッド」「夏あかり」「シナノスイート」「名月」など30品種を栽培。特に「ピンクレディー」の拡大を進めている。販路はJA、直売所(道の駅)、直売(オーナー)、卸売り(洋菓子店、通販)など。加工品として「ピンクレディージュース」や「オリジナルジャム」が好評だ。今後はアジアを中心に輸出も視野に入れた経営展開をみせる「ミスターアップル」。安曇野のシンガポールライオンとして有名。後継予定の長男・隆一氏は本学在学中(国経2)。〈2010年土地改良優良法人「農林水産大臣賞」〉

自動化でブナシメジ年約1700ト

農事組合法人「アグリコ」
代表理事会長 福原俊秀氏(昭45農)

農事組合法人「アグリコ」は、長野県駒ヶ根市に平成6年に設立された。今年で21年目となる。某大手商社マンから転職して農業に参入した福原俊秀氏(昭45農)が、東南アジア諸国での多くの経験と独自の理念と発想・知識で起業した。「アグリコ」はわが国最大級の菌床栽培方式を取り入れた「やまびこしめじ(ブナシメジ)」の法人経営をしている。経営敷地約4500坪(1坪は3.3平方メートル)にコンピューターでの完全自動化システムの栽培施設(2800坪)を完備。法人役員を含め83人の従業員を擁する。

また、廃おがくずを有効利用して経営地に隣接する農地2.5畝に有機無農薬でタマネギ(鷹のタマネギ)を約7ト生産・販売、無駄を出さない環境重視の循環型農業にも取り組んでいる。〈2006年東京農大経営者大賞受賞〉



会員の動静

叙勲・褒賞の栄に輝く校友(平26春)

- ▲旭日中級章 神奈川支部 三好 吉清氏(昭36農)
- ▲旭日小級章 茨城県支部 廣瀬 淳一氏(昭40短醸)
- ▲旭日双光章 茨城県支部 内田 善博氏(昭39林)
- ▲高知県支部 町田 貴氏(昭38醸)
- ▲瑞宝小級章 高知県支部 山本 孟雄氏(昭41農)
- ▲高知県支部 林 宏興氏(昭40経)
- ▲瑞宝双光章 徳島県支部 泉 隆治氏(昭35経)
- ▲宮崎県支部 黒木 康郎氏(昭35農)
- ▲黄綬褒章 長崎県支部 為永 一夫氏(昭47道)
- ▲当選・就任 町長 群馬県支部 東吾妻町 4月20日 中沢 恒喜氏(昭48林)
- ▲千葉県支部 多古町 4月8日 菅沢 英毅氏(昭42農)
- ▲新支部長紹介 支部長 新潟県支部 5月24日付 山本 一成氏(昭37経)
- ▲栃木県支部 7月27日付 鈴木 崇之氏(昭50農)
- ▲長崎県支部 9月6日付 市丸 浩氏(昭51拓)
- ▲叙勲・褒賞の栄に輝く校友(平26春) 梶 峻介氏(平22農)
- 徳島県支部 平成26年2月8日 荒木 昭二氏(昭33林)
- 新潟県支部 平成26年3月13日 中村 祥一氏(昭23学化)
- 新潟県支部 平成26年3月24日 齋藤 紀子氏(昭43農)
- 東京都支部 平成26年4月18日 岡田 耕氏(昭16学農)
- 高知県支部 平成26年4月19日 中嶋 久悦氏(昭25専畜)
- 青森県支部 平成26年5月14日 鈴木 重俊氏(昭44院農博)
- 東京都支部 平成26年5月19日 藤原 喜六氏(昭32経)
- 静岡県支部 平成26年5月20日 淡輪 俊氏(昭47農)
- 東京都支部 平成26年5月27日 飯桶 洋二氏(昭42米)
- 東京都支部 平成26年5月30日 竹江 宏之氏(昭36農)
- 茨城県支部 平成26年7月17日 國友 寛氏(昭29短醸)
- 滋賀県支部 平成26年7月18日 井上 庸氏(昭24学上)
- 東京都支部 平成26年7月29日 大津 満男氏(昭30経)
- 茨城県支部 平成26年8月4日 アビチャイ チャチャイ氏(昭57院化博)
- タイ支部 平成26年8月4日 時国 匡夫氏(昭27学農)
- 和歌山県支部 平成26年8月12日 大谷 忠氏(昭37畜)
- 神奈川県支部 平成26年8月13日 佐藤 忍氏(昭22専村経)
- 群馬県支部 平成26年8月15日 瀧呂木 昭氏(昭26専農)
- 神奈川県支部 平成26年8月20日 久保 庸二氏(昭18専上)
- 千葉県支部 平成26年8月27日 佐々木和男氏(昭33農)
- 秋田県支部 平成26年9月5日 宮川 敏正氏(昭29工)
- 神奈川県支部 平成26年9月5日 矢尾 正三郎氏(昭44院経修)
- 福井県支部 平成26年9月22日

次の校友が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- ▲中島 良一氏(昭21学農)
- ▲新潟県支部 平成25年12月30日 川上 淳一氏(昭14専農)
- ▲新潟県支部 平成26年1月30日

農友会 活動

体育団体

相撲部 強化指定部

第31回全日本大学選抜相撲宇和島大会(4月29日、愛媛県宇和島市)
 △団体戦 準優勝▽個人戦 優勝・小柳亮太(森林3)
 第54回全国大学選抜相撲宇和島大会(5月3日、大分県宇佐市)
 △団体戦 4位▽個人戦 16位・百瀬潤一(森林3)
 第23回全国選抜大学・社会



第52回全国大学・実業団対抗相撲和歌山大会で個人戦優勝、団体戦準優勝の小柳亮太選手(森林3)=前列左



東日本学生相撲選手権大会で準優勝した選手たち

人対抗相撲九州大会(5月5日、福岡県久山町)
 △団体戦 準優勝

第52回全国大学・実業団対抗相撲和歌山大会(5月18日、和歌山市)
 △団体戦 準優勝▽個人戦 優勝・小柳亮太(森林3)

第93回東日本学生相撲選手権大会(6月8日、東京都両国国技館)
 △団体戦 準優勝

第4回全日本大学選抜金沢大会(7月20日、金沢市)
 △団体戦 ベスト8

昭和49年第50回箱根駅伝から4年連続出場、昭和52年第53回箱根駅伝10区で区間賞、農大準優勝に貢献。卒業後はリッカー陸上部、日産自動車陸上部で活躍。昭和59年第39回びわ湖毎日

◆男子長距離
 新監督に岩瀬哲治氏(愛知県出身、昭53工学)が就任(4月1日)

◆女子長距離
 霞ヶ浦マラソン(4月20日) 一般10マイル(16キ)の部 中村瑠花(栄3) 56分53秒(優勝) シドニーマラソン派遣決定、内海あや(栄3) 58分07秒(2位) セイコーゴールデングランプリ陸上(5月11日、国立競技場) 1500m 日本代表

第41回東日本学生相撲個人体重別選手権大会(7月27日、靖国神社)
 △75kg未満級 3位・中畑裕雅(森林2) △75kg未満級 3位・千葉翔太(工学1) △85kg未満級 3位・オチルフエンフバヤル(ビジネス2)

第11回アジア相撲選手権大会および第19回世界相撲選手権大会(8月29~31日、台湾・高雄市) 12面に関連記事

第62回全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会(9月14日、刈谷市体育館特設相撲場)

△団体戦 3位、▽個人戦 小永裕也(開発4) 16

陸上競技部 強化指定部

1校8人による1万回の合計タイムで争い、神奈川県大など上位7校が本戦出場を決めた。農大は総合タイム14位で出場権を逸した。

第91回箱根駅伝予選会(10月18日) 12面に詳細記事

表、飯野摩耶(経3) 4分17秒47(7位) 自己新・農大新・山梨県新

関東学生インカレ前半(5月16日~17日、熊谷陸上競技場)

1500m 以決勝 飯野摩耶(経3) 4分30秒11(2位) 1万 以決勝 中村瑠花(栄3) 35分21秒23(10位) 堀川はる菜(開3) 36分18秒82(14位) 内海あや(栄3) 36分32秒93(17位) 関東学生インカレ後半(5月24日~25日、日産スタジアム) 5000m 以決勝 小堀真佳(栄2) 16分13秒25(7位入賞) 自己新、古屋夏乃(経2) 17分01秒71(25位) 服部美咲(経1) 17分03秒55(26位) 1万 以決勝 相京智子(経2) 53分37秒19(13位) 自己新

第98回日本陸上競技選手権大会(6月7日、第17回アジア競技大会代表選手選考競技会・福島県とうほうみんのスタジアム) 1500m 以決勝 飯野摩耶(経3) 4分17秒96(2位)

ヨーロッパ遠征第1戦(7月16日) ヨーロッパ遠征の飯野摩耶(経3) がベルギーのLigeにて行われたInternational Meeting "Provence de Lige"に出場、自己セカンド記録で3位となった。

女子1500m 以飯野摩耶(経3) 4分17秒85(3位) ヨーロッパ遠征第2戦(7月19日) ヨーロッパ遠征の飯野摩耶(経3) がベルギーのハッセルトで行われたKBC Night of Athleticsに出場、8位となり自己記録を更新した。

1500m 以飯野摩耶(経3) 4分16秒37(8位)

シドニーマラソン2014(9月21日) ハーフマラソン優勝

中村瑠花(栄3) 1時間16分21秒

4月20日の霞ヶ浦マラソン代表(優勝者)として出場、優勝を飾った。「初めての海外レースで不安もあった。シドニーの景色を楽しみながら走れた。早朝のスタート、突然歩道を走ったり上がったりと驚くこともあったが、国内では経験できないことを経験した。今後のレースに生かしていきたい」と語った。

自己新・農大新・山梨県新 天皇盃第83回日本学生陸上競技対校選手権大会(9月5~7日、埼玉県熊谷スポーツ文化公園)

1500m 以決勝 飯野摩耶(経3) 4分24秒92(2位) 5000m 以小堀真佳(栄2) 15分55秒52(7位) 自己ベスト 1万 以古屋夏乃(経2) 36分21秒20(27位)

第17回仁川アジア競技大会の日本代表選考試合(4月5日、NTC)

本学から齋藤一貴(ビジネス4)、桑原拓(ビジネス1)の2人と学生の他に平成25年度国際バイオビジネス学科卒業の青木貞頼さん(東京農業大学第二高等学校事務職員)、平成23年度経済学科卒業の成松大介さん(自衛隊体育学校)の卒業生を含む合計4人の選手が選考試合に出場、青木選手が仁川アジア競技大会の出場権を獲得した(青木選手は都合により出場辞退)。

第67回関東大学リーグ戦 平成26年5月10~7月12日、後楽園ホールで開催。結果は準優勝で王座奪回とはならなかったが、秋期の国民体育大会および全日本選手権での活躍を期待したい。

ベルの大会となった。本学の2人は勇敢に自信をもって日頃の成果を発揮した。金メダルの中野選手は初の海外試合。堂々のパフォーマンスを出した。準決勝ではインドネシアの選手(アジア大会代表)に動じることなく快勝。決勝ではパキスタンの選手(同代表)にワンサイド、安定した試合を展開した。

銅メダルの桑原選手も初の海外試合。素晴らしいパフォーマンスを出した。準決勝は昨年優勝のアジア大会代表と対戦。1ラウンドからシャープなパンチで主導権を握り、2~3ラウンドは攻防一体となり会場を沸かせた。勝利を確信したが2対1の判定で敗れた。「スポーツは学生たちの成長にとって必要不可欠。スポーツに親しみ楽しむ工夫し努力する、他人を思いやる。まさに教育。将来豊かな人生へとつながり、次の世代を農大卒業生として好循環を生み出していく。2020年東京オリンピックに向け大きな自信となった。オリンピックで感動と勇気を国民にお伝えしたい」と日本チームの監督を務めた山本浩二ボクシング部監督(日本ボクシング連盟常務理事、オリンピック選手強化本部委員、国際ボクシング協会 Coaches Star)はコメントした。

飯野摩耶選手(経3)が実力発揮

女子長距離セクションで本学をけん引する1500mのスペシャリスト・飯野摩耶選手が期待通りの活躍を見せている。5月の国際陸上では日本代表として出場、自己新をマーク。6月の日本陸上競技選手権では2位入賞、7月にはヨーロッパ・ベルギー遠征のメンバーに選ばれ転戦、外国勢相手に健闘し自己新を更新した。9月5~7日の日本学生陸上競技対校選手権大会女子1500m準優勝の飯野摩耶選手

第98回日本陸上競技選手権大会女子1500m準優勝の飯野摩耶選手

外国勢相手に自己記録更新の力走

ボクシング部

第17回仁川アジア競技大会の日本代表選考試合(4月5日、NTC) 本学から齋藤一貴(ビジネス4)、桑原拓(ビジネス1)の2人と学生の他に平成25年度国際バイオビジネス学科卒業の青木貞頼さん(東京農業大学第二高等学校事務職員)、平成23年度経済学科卒業の成松大介さん(自衛隊体育学校)の卒業生を含む合計4人の選手が選考試合に出場、青木選手が仁川アジア競技大会の出場権を獲得した(青木選手は都合により出場辞退)。

第67回関東大学リーグ戦 平成26年5月10~7月12日、後楽園ホールで開催。結果は準優勝で王座奪回とはならなかったが、秋期の国民体育大会および全日本選手権での活躍を期待したい。

ベルの大会となった。本学の2人は勇敢に自信をもって日頃の成果を発揮した。金メダルの中野選手は初の海外試合。堂々のパフォーマンスを出した。準決勝ではインドネシアの選手(アジア大会代表)に動じることなく快勝。決勝ではパキスタンの選手(同代表)にワンサイド、安定した試合を展開した。

銅メダルの桑原選手も初の海外試合。素晴らしいパフォーマンスを出した。準決勝は昨年優勝のアジア大会代表と対戦。1ラウンドからシャープなパンチで主導権を握り、2~3ラウンドは攻防一体となり会場を沸かせた。勝利を確信したが2対1の判定で敗れた。「スポーツは学生たちの成長にとって必要不可欠。スポーツに親しみ楽しむ工夫し努力する、他人を思いやる。まさに教育。将来豊かな人生へとつながり、次の世代を農大卒業生として好循環を生み出していく。2020年東京オリンピックに向け大きな自信となった。オリンピックで感動と勇気を国民にお伝えしたい」と日本チームの監督を務めた山本浩二ボクシング部監督(日本ボクシング連盟常務理事、オリンピック選手強化本部委員、国際ボクシング協会 Coaches Star)はコメントした。

飯野摩耶選手(経3)が実力発揮

女子長距離セクションで本学をけん引する1500mのスペシャリスト・飯野摩耶選手が期待通りの活躍を見せている。5月の国際陸上では日本代表として出場、自己新をマーク。6月の日本陸上競技選手権では2位入賞、7月にはヨーロッパ・ベルギー遠征のメンバーに選ばれ転戦、外国勢相手に健闘し自己新を更新した。9月5~7日の日本学生陸上競技対校選手権大会女子1500m準優勝の飯野摩耶選手

第98回日本陸上競技選手権大会女子1500m準優勝の飯野摩耶選手

外国勢相手に自己記録更新の力走

ボクシング部

第17回仁川アジア競技大会の日本代表選考試合(4月5日、NTC) 本学から齋藤一貴(ビジネス4)、桑原拓(ビジネス1)の2人と学生の他に平成25年度国際バイオビジネス学科卒業の青木貞頼さん(東京農業大学第二高等学校事務職員)、平成23年度経済学科卒業の成松大介さん(自衛隊体育学校)の卒業生を含む合計4人の選手が選考試合に出場、青木選手が仁川アジア競技大会の出場権を獲得した(青木選手は都合により出場辞退)。

第67回関東大学リーグ戦 平成26年5月10~7月12日、後楽園ホールで開催。結果は準優勝で王座奪回とはならなかったが、秋期の国民体育大会および全日本選手権での活躍を期待したい。

ベルの大会となった。本学の2人は勇敢に自信をもって日頃の成果を発揮した。金メダルの中野選手は初の海外試合。堂々のパフォーマンスを出した。準決勝ではインドネシアの選手(アジア大会代表)に動じることなく快勝。決勝ではパキスタンの選手(同代表)にワンサイド、安定した試合を展開した。

銅メダルの桑原選手も初の海外試合。素晴らしいパフォーマンスを出した。準決勝は昨年優勝のアジア大会代表と対戦。1ラウンドからシャープなパンチで主導権を握り、2~3ラウンドは攻防一体となり会場を沸かせた。勝利を確信したが2対1の判定で敗れた。「スポーツは学生たちの成長にとって必要不可欠。スポーツに親しみ楽しむ工夫し努力する、他人を思いやる。まさに教育。将来豊かな人生へとつながり、次の世代を農大卒業生として好循環を生み出していく。2020年東京オリンピックに向け大きな自信となった。オリンピックで感動と勇気を国民にお伝えしたい」と日本チームの監督を務めた山本浩二ボクシング部監督(日本ボクシング連盟常務理事、オリンピック選手強化本部委員、国際ボクシング協会 Coaches Star)はコメントした。

<東京農大4勝1敗・勝点30で準優勝>

| 日程 | 対戦成績 | 対戦相手 | 対戦結果 | 大学名 |
|----------|--------------|--------|------|-----|
| 5月10日(土) | 東京農大 ○ 8 対 1 | × 東洋大学 | | |
| 5月24日(土) | 東京農大 × 3 対 6 | ○ 日本大学 | | |
| 6月14日(土) | 東京農大 ○ 7 対 2 | × 駒澤大学 | | |
| 6月28日(土) | 東京農大 ○ 6 対 3 | × 中央大学 | | |
| 7月12日(土) | 東京農大 ○ 6 対 3 | × 拓殖大学 | | |

*個人タイトル(各階級優秀選手)▷フライ級=金澤宣明(国際バイオ2)▷バンタム級=中野幹士(国際バイオ1)

第4回台湾台北市カップ国際トーナメント(8月6~12日) 11面に関連記事

金メダル獲得 中野幹士(バイオ1)

銅メダル獲得 桑原拓(バイオ1)

アジアを中心に14カ国が出場した国際試合で高いレ

左から桑原拓選手、中野幹士選手、山本浩二監督

第17回仁川アジア競技大会の日本代表選考試合(4月5日、NTC) 本学から齋藤一貴(ビジネス4)、桑原拓(ビジネス1)の2人と学生の他に平成25年度国際バイオビジネス学科卒業の青木貞頼さん(東京農業大学第二高等学校事務職員)、平成23年度経済学科卒業の成松大介さん(自衛隊体育学校)の卒業生を含む合計4人の選手が選考試合に出場、青木選手が仁川アジア競技大会の出場権を獲得した(青木選手は都合により出場辞退)。

第67回関東大学リーグ戦 平成26年5月10~7月12日、後楽園ホールで開催。結果は準優勝で王座奪回とはならなかったが、秋期の国民体育大会および全日本選手権での活躍を期待したい。

ベルの大会となった。本学の2人は勇敢に自信をもって日頃の成果を発揮した。金メダルの中野選手は初の海外試合。堂々のパフォーマンスを出した。準決勝ではインドネシアの選手(アジア大会代表)に動じることなく快勝。決勝ではパキスタンの選手(同代表)にワンサイド、安定した試合を展開した。

銅メダルの桑原選手も初の海外試合。素晴らしいパフォーマンスを出した。準決勝は昨年優勝のアジア大会代表と対戦。1ラウンドからシャープなパンチで主導権を握り、2~3ラウンドは攻防一体となり会場を沸かせた。勝利を確信したが2対1の判定で敗れた。「スポーツは学生たちの成長にとって必要不可欠。スポーツに親しみ楽しむ工夫し努力する、他人を思いやる。まさに教育。将来豊かな人生へとつながり、次の世代を農大卒業生として好循環を生み出していく。2020年東京オリンピックに向け大きな自信となった。オリンピックで感動と勇気を国民にお伝えしたい」と日本チームの監督を務めた山本浩二ボクシング部監督(日本ボクシング連盟常務理事、オリンピック選手強化本部委員、国際ボクシング協会 Coaches Star)はコメントした。

第4回台湾台北市カップ国際トーナメント(8月6~12日) 11面に関連記事

金メダル獲得 中野幹士(バイオ1)

銅メダル獲得 桑原拓(バイオ1)

アジアを中心に14カ国が出場した国際試合で高いレ

左から桑原拓選手、中野幹士選手、山本浩二監督

剣道部

第63回関東学生剣道優勝大会ベスト8で敢闘賞受賞(9月14日、日本武道館)
1回戦シードの本学は2回戦で大正大学、3回戦で神奈川大学に勝利し、全日本学生優勝大会の出場権を得ると、続く、4回戦では優勝候補の早稲田大学を3対2で退け、準々決勝に駒を進めた。
昭和32年の第6回大会優勝以来、2回目の優勝を目指す本学は、準々決勝で国士館大学と対戦し、惜しくも2対4で敗れたが、その戦いは堂々とした立派なものであった。



第63回関東学生剣道優勝大会でベスト8

来る11月16日(日)に、大阪で全日本優勝大会が開催される。昨年、本大会でベスト8に入賞して

文化団体

書道部

毎日書道展において2人が入賞、14人が入選
日本の「四大書展」の一



U23奨励賞入賞・山村芽生さんの作品

つ、第66回毎日書道展(毎日新聞社、毎日書道会主催)において、約3万4000点の公募出品の中から、本学書道部員が「U23新鋭賞」「U23奨励賞」に入賞、14人が入選した。

学業の傍ら課外活動で書道を学び、名譽ある成績を残した書道部のレベルの高さを示した。
表彰式が7月20日、芝公園のザ・プリンスパークタワー東京で開かれた。入賞作品は国立新美術館、入選作品は東京都美術館の書道展で展示された。

【入賞】
「U23新鋭賞・近代詩文書部」武藤雄太(化学3)
「U23奨励賞・近代詩文書部」山村芽生(経済3)

【入選者】
▽4年生II阿部清孝(バイオ)、岩上匡伸(バイオ)、浅井美緒(化学)、照屋夏



U23新鋭賞入賞・武藤雄太さんの作品

少林寺拳法部

第51回少林寺拳法関東学生大会(5月4日、日本武道館)
▽女子二段の部II準優勝・渡辺あすみ(醸4)、田中初記(栄2)
▽立会評価法女子団体の部II3位・渡辺あすみ(醸4)、田中初記(栄2)

自動車部

全関東学生競技選手権大会(5月10日、富士スピードウェイ)
▽女子団体II3位

第33回全日本ジュニアパワースタリオン選手権大会兼、第32回世界ジュニアパワースタリオン選手権大会(5月25日、長野県白馬村)
▽個人の部男子93kg級II準優勝・南場航太郎(森2)、▽同120kg級II優勝・間嶋秀伍(化4)

馬術部

第51回東都学生馬術大会(4月11~13日、馬事公苑)
▽一般障害飛越競技II団体準優勝▽新人障害飛越競技II団体3位▽新人馬場馬術競技II団体3位▽複合馬術競技II団体3位▽標準障害飛越競技II団体準優勝、個人準優勝・和田健太郎(ビジネス1)▽団体総合準優勝

馬術部

第67回都民体育大会(5月10~11日)
▽男子障害飛越競技II準優勝・中嶋遼(ビジネス2)
▽ジムカーナ(男子)II3位・深作友哉(開発1)

第86回関東学生馬術選手権大会(5月30日~6月1日)
▽総合結果II準優勝・吉田匡慶(ビジネス1)
▽関東学生馬術三大大会(6月26~29日)
▽第49回関東学生賞典障害飛越競技大会II8位・服部真緒(ビジネス2)▽第65回関東学生賞典総合馬術競技大会II7位・吉田匡慶(ビジネス1)

ホッケー部

平成26年度関東学生ホッケー春季リーグ準優勝、全国王座決定戦への出場権獲得
5月25日に行われた関東学生ホッケー春季リーグ決勝戦で山梨学院大学を相手

ホッケー部

男子は今期の主要大会の成績で、女子部は予選会で出場権を獲得。全国優勝を目指して大会に臨む。皆さまの心温かいご声援をお願いします。

第63回男子・第36回女子全日本学生ホッケー選手権大会に出場決定

に優勝を奪還すべくチーム一丸となり戦った。前半は互角の戦いをしたが、後半に差をつけられ(農大2対4山梨)と惜敗したものの全日本王座決定戦への出場権を獲得した。
しかし、6月27日から奈良県親里ホッケー場で行われた全日本大学ホッケー王座決定戦で、山梨学院に準々決勝で敗れた。
第63回男子・第36回女子全日本学生ホッケー選手権大会に出場決定

開催期間：平成26年10月31日(金)~11月5日(水)
会場：岐阜県各務ヶ原市グリーンスタジアム



平成26年度関東学生ホッケー春季リーグで準優勝

農大ボクシング部に新星

ホープ紹介
台北市カップ国際トーナメントで金メダルを獲得した中野幹士君(国際バイオ1年)。
生まれば山口県萩市、父親の転勤で東京・竹台高校に進学。4人兄弟の2番目。弟妹も選手という



中野幹士選手

ボクシング一家。小学6年生から帝拳ジムでボクシングに打ち込む。高校時代は全国選抜大会・佐賀インターハイなどで優勝、超高校級選手として名を挙げた。ジムの先輩や山本監督の勧めで農大に入学。身長169cm・体重57kgと軽量級では大柄だ。運動部が入る常盤寮に先輩たちと居住。朝夕3時間の練習で体力・技術を磨き毎日が続く。個人ではフライ級・バンタム級クラスでの日本一が目標。「当面、長崎国体の東京代表として優勝すること。団体では、来年の関東大学リーグでのチーム優勝、さらには通算9度となる全日本大学王座奪還」と語る。趣味は食べること。フラペチーノが好物で、笑顔がさわやかな新星だ。(9月25日)

吹奏楽部

創部60年目を迎えた吹奏楽部が百周年記念講堂において、1部は雄大なクラシックステージ、2部は華やかなポップステージと幅広い曲を演奏し多くの観客を魅了した。



ラテンの部パソドブレ中村大塩へア

箱根駅伝

本戦への出場権を逃す 主力選手のけが欠場が響く



全体4位で力走する浅岡選手

第91回東京箱根間往復駅伝競走(箱根駅伝)予選会が10月18日、東京・立川市の国立昭和記念公園を主会場として48大学が参加、来年正月の本戦への出場10枠をかけて死闘が展開された。本学は昨年の予選会ではトップ通過したものの、今年の本戦では精彩を欠き失速、総合14位に終わり今年も予選会からのスタートとなった。

本学は箱根駅伝の伝統・常連校として8年連続70回目の出場を目指したが、惜しくも10位に49秒差の11位に終わり本戦への出場権を逃した。

岩瀬監督になって初め

た3位以内を達成することができた。夏の菅平で3回の合宿を経て、一人一人が確実に力をつけている。応援して下さった皆さまのおかげ。チームの雰囲気は盛り上がりつつあるので、杜の都仙台ではシード権獲得に向けて一丸となって頑張りたい」と長田監督は感謝の気持ちを込めて話した。

△春季東都2部リーグは3勝9敗で6位となり、3部優勝の芝浦工大との入替戦の結果、2戦2勝で2部残留が決定。

▽秋季東都2部リーグは3勝9敗で6位、入替戦への予選会。約50人の部員から12人が選ばれエントリした。うち7人は昨年の予選会経験者、5人は今年の本戦経験者だったが、当日になって実績のある岩瀬慎矢(食経4/岩手・一関学院)と西村昌悟(森2/埼玉・松山)がけがで急きょ欠場したことが総合タイム差に大きく影響。本戦経験がある土井久理夫(開発4/三重・上野工)の欠場も響いた。

レース結果は、キャプテンの浅岡満憲(開発4/岐阜・中京)が全体の4位、竹内竜真(造4/山形・東海大山形)が14位、戸田雅稀(食経3/群馬・東農大

は、北海道六大学野球秋季リーグ戦において、10勝0敗の成績で2季ぶり24回目のリーグ優勝を果たした。また、10月4〜6日の明治神宮野球大会北海道地区代表決定戦において、札幌六大学野球優勝校の道都大学と対戦。2勝1敗で見事優勝、北海道地区代表として11月14日から神宮球場で開催される第45回明治神宮野球大会に出場が決定した。

ドラフト候補の風張蓮投手(産経4)をはじめ、玉井大翔投手(産経

ゲームズで圧倒的な力で優勝した強豪である。モンゴルの大将を務めた選手は昨年コロンビア(カリ)のワールドゲームズ個人無差別級の優勝者であった。OBのウスフバヤルは、準決勝でウクライナの優勝候補を上手投げで倒し決勝進出。決勝では日本代表の野口選手のようにまい相撲内容で負けて準優勝。ウスフバヤルは昨年のワールドゲームズとコンバットゲームズにおいてモンゴル個人中量級代表として出場、ワールドゲームズでは3位、コンバットゲームズでは2位となった。

来年開催される世界相撲選手権大会(大阪府堺市)でも日本代表やモンゴル代表に選ばれるよう、日本国内で行われる各試合でしっかりと戦績を残し、農大の名を高めていきたい。

(相撲部監督小松勝彦)

の完全優勝となった。明治神宮野球大会は全国各地を勝ち上がった11大学が出場する名譽ある大会。オホーツク硬式野球部は4年ぶり2回目の出場となる。声援をお願いしたい。

(助監督嶋田達郎)

陸上競技部



杜の都駅伝に2年連続22回目の出場権を獲得

大会において1時間41分48秒で総合3位となり、10月26日(日)仙台市で開催される「第32回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)」に2年連続22回目の出場権を獲得した。

レースは1区の小堀真佳(栄2)が区間1位の力走を見せ、2区の佐藤ひとみ(化3)にたすきをつなぎ、3区の内藤香菜(栄2)、4区のエース飯野摩耶(経3)、5区キャプテンの内海あや(栄3)とデッドヒートを繰り返しながらも通過順位2位をキープ。最長区間の最終6区は古屋夏乃(経2)が順位を落とし、たすきの見事3位でテープを切った。

「チームの目標としてい

△春季東都2部リーグは3勝9敗で6位となり、3部優勝の芝浦工大との入替戦の結果、2戦2勝で2部残留が決定。

▽秋季東都2部リーグは3勝9敗で6位、入替戦への予選会。約50人の部員から12人が選ばれエントリした。うち7人は昨年の予選会経験者、5人は今年の本戦経験者だったが、当日になって実績のある岩瀬慎矢(食経4/岩手・一関学院)と西村昌悟(森2/埼玉・松山)がけがで急きょ欠場したことが総合タイム差に大きく影響。本戦経験がある土井久理夫(開発4/三重・上野工)の欠場も響いた。

レース結果は、キャプテンの浅岡満憲(開発4/岐阜・中京)が全体の4位、竹内竜真(造4/山形・東海大山形)が14位、戸田雅稀(食経3/群馬・東農大

は、北海道六大学野球秋季リーグ戦において、10勝0敗の成績で2季ぶり24回目のリーグ優勝を果たした。また、10月4〜6日の明治神宮野球大会北海道地区代表決定戦において、札幌六大学野球優勝校の道都大学と対戦。2勝1敗で見事優勝、北海道地区代表として11月14日から神宮球場で開催される第45回明治神宮野球大会に出場が決定した。

ドラフト候補の風張蓮投手(産経4)をはじめ、玉井大翔投手(産経

ゲームズで圧倒的な力で優勝した強豪である。モンゴルの大将を務めた選手は昨年コロンビア(カリ)のワールドゲームズ個人無差別級の優勝者であった。OBのウスフバヤルは、準決勝でウクライナの優勝候補を上手投げで倒し決勝進出。決勝では日本代表の野口選手のようにまい相撲内容で負けて準優勝。ウスフバヤルは昨年のワールドゲームズとコンバットゲームズにおいてモンゴル個人中量級代表として出場、ワールドゲームズでは3位、コンバットゲームズでは2位となった。

来年開催される世界相撲選手権大会(大阪府堺市)でも日本代表やモンゴル代表に選ばれるよう、日本国内で行われる各試合でしっかりと戦績を残し、農大の名を高めていきたい。

(相撲部監督小松勝彦)

の完全優勝となった。明治神宮野球大会は全国各地を勝ち上がった11大学が出場する名譽ある大会。オホーツク硬式野球部は4年ぶり2回目の出場となる。声援をお願いしたい。

(助監督嶋田達郎)

全日本大学女子駅伝対校選手権大会 2年連続の出場果たす

本学陸上競技部(女子長距離)は、9月28日千葉県東大学女子駅伝対校選手権

世田谷硬式野球部 強化指定部

△春季東都2部リーグは3勝9敗で6位となり、3部優勝の芝浦工大との入替戦の結果、2戦2勝で2部残留が決定。

▽秋季東都2部リーグは3勝9敗で6位、入替戦への予選会。約50人の部員から12人が選ばれエントリした。うち7人は昨年の予選会経験者、5人は今年の本戦経験者だったが、当日になって実績のある岩瀬慎矢(食経4/岩手・一関学院)と西村昌悟(森2/埼玉・松山)がけがで急きょ欠場したことが総合タイム差に大きく影響。本戦経験がある土井久理夫(開発4/三重・上野工)の欠場も響いた。

レース結果は、キャプテンの浅岡満憲(開発4/岐阜・中京)が全体の4位、竹内竜真(造4/山形・東海大山形)が14位、戸田雅稀(食経3/群馬・東農大

オホーツク硬式野球部 強化指定部

△春季東都2部リーグは3勝9敗で6位となり、3部優勝の芝浦工大との入替戦の結果、2戦2勝で2部残留が決定。

▽秋季東都2部リーグは3勝9敗で6位、入替戦への予選会。約50人の部員から12人が選ばれエントリした。うち7人は昨年の予選会経験者、5人は今年の本戦経験者だったが、当日になって実績のある岩瀬慎矢(食経4/岩手・一関学院)と西村昌悟(森2/埼玉・松山)がけがで急きょ欠場したことが総合タイム差に大きく影響。本戦経験がある土井久理夫(開発4/三重・上野工)の欠場も響いた。

レース結果は、キャプテンの浅岡満憲(開発4/岐阜・中京)が全体の4位、竹内竜真(造4/山形・東海大山形)が14位、戸田雅稀(食経3/群馬・東農大

グリーンアカデミーホール - 校友会館 -

校友皆様のご利用を

グリーンアカデミーホールは母校創立90周年を記念して、全国校友より寄せられた募金をもとに建設されたものです。

| 会議室 | 休養室(宿泊) | レストラン | 共済 |
|---|---|---|---------------------|
| 数名から150名までご利用いただけます。会議の目的・予算にあわせて、室は5室。 | 大学への用務、同窓会、研修会などでお泊まりの時、父母の方が上京された折りの宿泊に。 | かつらいた雰囲気・食事と喫茶。会議室での会食・パーティー等。は会合の目的・予算にあわせて、要望に応じたセットをいたします。 | スポーツ傷害保険で安心してスポーツを。 |

平日は9時~17時 校友会事務局へ Tel.03-3429-1983 (土・日・祭を除く) (株)農大常磐松 Fax.03-3427-2271

申込方法



第45回明治神宮野球大会への出場が決定

は、北海道六大学野球秋季リーグ戦において、10勝0敗の成績で2季ぶり24回目のリーグ優勝を果たした。また、10月4〜6日の明治神宮野球大会北海道地区代表決定戦において、札幌六大学野球優勝校の道都大学と対戦。2勝1敗で見事優勝、北海道地区代表として11月14日から神宮球場で開催される第45回明治神宮野球大会に出場が決定した。

ドラフト候補の風張蓮投手(産経4)をはじめ、玉井大翔投手(産経

有限会社 農大桜丘 (保険代理店)

皆様の安全を確保する保険に加入を

今後とも一層のご支援、ご協力をお願い致します。

(損害保険) 傷害・自動車・火災・国内旅行・学生総合プラン(こども総合保険)等

校友会事務局へ
Tel.03-3429-1983 Fax.03-3427-2271
平日は9時~17時(土・日・祭を除く)

申込方法

編集後記

箱根駅伝予選会、今年も取材を兼ねて早朝から応援に駆けつけました。多くの卒業生、校友が気にかけていた予選会、選手は懸命に走りでしたが、残念ながら予選通過は果たせませんでした。来年の正月は母校の勇姿はありませんが、必ずや箱根駅伝に戻ってきてくれるものと思います。

今号では、学生の農友会活動の記録を大きく取り上げました。各団体・選手が我が東京農大の名を高めます。一部しか紹介できませんが、今後もできる限り掲載していきたいと思っております。

(小野)

編集委員

- 委員長 小泉 幸道 (副学長・醸造教授)
- 委員 館 博 (短醸・教授)
- 委員 佐藤 勝彦 (校友会常任理事)
- 委員 豊原 秀和 (校友会常任理事・名誉教授)
- 委員 小野 甲二 (校友会事務局長)